

夢ヲかたちにinひょうご ～福祉準備会通信～ No.3

～住んでる街を住みたい街に～

グリーンコープ生活協同組合ひょうご 理事会

発行日：2022年 1月24日

2022年度 福祉活動組合員基金の設立を目指します

福祉準備会通信No1（11/22週発行）No2（12/6週発行）にて、全組合員で協力して「グリーンコープ生協ひょうごの福祉活動組合員基金（通称100円基金）の設立を目指す」ことについてご案内いたしました。グリーンコープの福祉活動については機関紙「共生の時代」でもよく紹介されるので、ご存じの方も多いと思います。

グリーンコープは、1985年のネグロス島の飢餓を知り、現地に直接出向き、そこで見て知ったことをどうにかできないかとネグロスカンパを募り、そのつながりから生まれた関係を発展させて今でも続く民衆交易を続けています。2011年の東日本大震災後の緊急支援から現在に至るまで東北の復興支援を続け、子どもひまわり大使をはじめとする保養プログラムで知り合った福島のお母さんたちが、グリーンコープ生協ふくしまを設立するまでに広がっています。

行政が行う支援は終わっても、そこに住む人々はその先もその地域で暮らしていかなくてはならないのが現実です。そして行政の支援が終わった後も変わらない、終わらないのがグリーンコープの支援です。それは現地の人に寄り添い続け、そうしてほしいという組合員の気持ちをうけて支援を続けるからです。グリーンコープの福祉は出会った人の手を離さない、その寄り添い続ける気持ちをもって継続し、発展しています。

今まで赤字続きで福祉の活動ができなかったグリーンコープ生協ひょうごですが、昨年より黒字となりました。コロナ禍の中グリーンコープで行う福祉を学びはじめ、今年度は福祉準備会を立ち上げ、少しずつですが自分たちの地域でできる、自分たちの求める活動を始めています。タイミングを同じくしてオールグリーンコープでも、各県のグリーンコープの地域づくりのために「夢ヲかたちに！理事会」が始動し、ひょうごでも「あったらいいな」「こんな地域にしたい」を語り合いながら、検討し、出来ることから始めています。

**各組合員が毎月100円を出し合う事で、自分たちが利用できる、
また自分たちは利用しなくても誰かの役に立てる、自分を活かせる場所につながる...
そんな基金を設立し、ひょうごの地域づくりを継続していきたい。**

今はその思いで設立を目指しています。何から始めるのかは、始められるときに必要なこと、始めるメンバーで必要と思うことから検討して始めます。そのために様々なことを知って、たくさんの方から学び、「グリーンコープ生協ひょうご」らしい活動を目指します。

この検討を進めていくため、改めて組合員の皆さんに、グリーンコープ生協ひょうご（「夢ヲかたちに理事会」や「福祉準備会」）の活動や検討の様子をきちんとお伝えできるように、福祉準備会通信「夢ヲかたちにinひょうご」を発行することにしました。この福祉準備会だより「夢ヲかたちにinひょうご」をお読みいただき、ご意見や感想・質問を届けて下さい。

（右QRコード又はhukusi_midorin@yahoo.co.jpより）バックナンバーご要望も☆
ひょうごらしい福祉活動組合員基金の設立を実現し、組合員の皆さんとともに、より良い地域福祉に取り組んでいきたいと思っております。今後とも宜しくお願いします。



【子育てサークル】

第1回11月10日（水）夙川公民館

第2回12月13日（月）西宮市市民交流センター

兵庫県は転勤族が多く、身内から離れて住みワンオペ育児に奮闘するお母さんがたくさんいます。転勤族だからほとんど友達がいない、コロナ禍で親子で触れ合える場所が少ない、同世代の子と遊ばせたい、同じような価値観（食に対して）のお友だち作りたい、親子で遊べる場所があると嬉しい...

そんな子育てをしてるお母さんが息抜きできる場所、社会と関われる場所の一つとしてグリーンコープの「子育てサークル」があったらいいなと、昨年より子育て中の理事が中心となり検討し始め、緊急事態宣言等で半年遅れのスタートとなりましたが、11月よりスタートできました。

12月はサポーターの方にリトミックをしていただいたり、クリスマスの折り紙をしたり、今後の運営について話をしたり、16人の親子で楽しく過ごしました。

今後も自主サークルとして「子育てサークル」を続けていきます。

（現在はオールグリーンコープの事業基金から会場費や運営費を負担しています。）

現在定員いっぱいなのでキャンセル待ちとなりますが、ご興味がある方はお子さんと一緒にメールでご登録お願いします。遠くから電車に乗ってきてくださる親子もいますので、各地域で開催できるように、今後も準備を進めたいと思います。

※登録はお子様（未就園児）の年齢を添えて

「件名：サークル登録申し込み」 hukusi_midorin@yahoo.co.jpまで



【ひだまり】

第1回11月16日（火）キープ&ショップ住吉東町

第2回12月21日（火）キープ&ショップ住吉東町

“学校に行きにくい子たちのママ(ご家族)のおしゃべりサロン『ひだまり』”

11月よりキープ&ショップ住吉東町で月1回オープン！しています。

この活動を機に、第一学院高等学校神戸キャンパス(通信制)主催の『地域の居場所～Full of smiles cafe～』とのご縁をいただき、見学&お話しをしに行ってきた～\(^-^)/

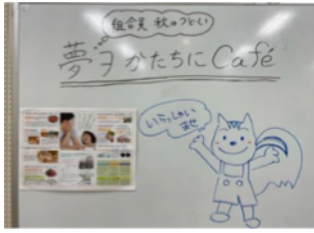
○ボランティア委員会の高校生が、地域貢献活動として多世代交流ができる地域の居場所カフェとして地域の市営住宅の集会室を借りてのオープン。

○コロナ禍を経て、さらに今年の9月からは『学校に行きにくい生徒・保護者の居場所』としての役割も兼ねたオープンとして、～高校生とおしゃべりや相談・宿題を一緒に進めたり、ゲームができる、小学生・中学生・保護者の居場所ともなっている～

★とても暖かい感じの良い空間に、初めましての大人達を少し緊張してる様子もありつつ暖かく迎えてくれた生徒さん達でした。これから、各々の活動が必要とされている人に届くよう、情報交換も含め良い交流を続けていけたらと思います。

グリーンコープ生協ひょうごで行う福祉を考える機会として、様々な活動を学習しています

【組合員の秋のつどい～夢ヲかたちに！Cafe～】



第1回 11月21日（日）午後・神戸市勤労会館

第2回 11月26日（金）午前・リード芦屋

第3回 12月 6日（月）夜間・オンライン

理事会主催の“秋のつどい「夢ヲかたちに！Cafe」”が、3回にわたって開催されました。

「つどい」とは、「組合員同士が交流して今後の生協運営に生かす場」として位置づけされています。普段の学習会などでは講師の話が主で組合員同士の交流までは時間が足りないのですが、今回は福祉準備会が企画したので100円基金（＝福祉活動組合員基金）を伝えるためにもたくさんの組合員の皆さんに参加してほしい、しっかりと組合員の声を聞かせてほしいと、初めて日曜日や夜にオンラインで開催しました。普段はお仕事で参加できない方も含めて全部で25人の参加申し込みがあり、質問や疑問をいただきながら交流出来ました。

今回は2時間（オンラインでは1時間半）の開催時間の中で、自己紹介やおすすめ商品を話したり（←オンラインでは省略）、「夢ヲかたちに！理事会」で進めている内容等をお伝えして意見交換をする場になり、今後のグリーンコープ生協ひようご理事会の検討の参考になりました。

11月22日週に配布した“福祉準備会通信No1”について、「今後どんな風に進めるのか？」「具体的に何から進めるのか？」という組合員の率直な意見を伺い、文字ではなかなか伝わりにくかった以下について、詳しくお話することができました。

- 1) 赤字だったひようごが経営努力や組合員拡大で黒字になって、やっと福祉を語れる状況になれたこと。
- 2) 黒字でも生協のお金は生協をよくするために使うものなので福祉では使えないこと。
- 3) 現在はオールグリーンコープで連帯して取引先に協力してもらってできている事業基金の支援で、自分たちが欲しいと切望していたグリーンコープらしい福祉を考え、居場所づくりや子育てサークルから始めていること。
- 4) 基盤となる資金がないと広がりや継続ができないので、組合員が毎月100円づつ出し合うひようごの福祉活動組合員基金（＝100円基金）を作りたいこと。
- 5) 組合員全員から拠出してもらうのは、「支援される、支援する関係」ではなく、みんなが協力して支え合う福祉を作りたいから。
(拠出したくない・今は拠出するのが難しい方は、「不同意」を選択することも可能です。)
- 6) 何から始めるかはまだ決まっていなくても、必要なことは福祉アンケートの声や、出会う人々との会話、社会状況等でわかってきているので、できることから徐々に始め、10年後にはグリーンコープの福祉施設ができるように広げていきたいこと。

「具体的に何からするのか？」と言われると、まだ何も決まっていないことは確かです。

福岡では自分たちができる家事サポートから始まり、在宅支援、通所施設、介護施設まで広がりました。配食サービスも、初めは少しのお弁当作りから子ども食堂（グリーンコープではこどもの居場所という）、高齢者の配食へと広がります。ひようごでも「すでに周りにたくさん施設がある」といわれますが、グリーンコープの理念をもってする一人一人のいのちに寄り添い、向き合う...そんな自分の家のような場所を作っていけるよう、何から始めるかは検討していきたい。始めたら継続するために、そして一つの地域だけでなくひようごの中で広げていくためにも基金は必須と考えています。グリーンコープ生協ひようごの組合員の一人一人の小さな力（100円）を合わせて、夢をかたちにしていきたいと思います。

「いのちを大切にすること」それはみんなが幸せに生きる社会の実現につながります。グリーンコープでは既に10年以上にわたって、この社会の実現のために取り組みを続けています。そういった活動を知り、福祉活動組合員基金=100円基金の必要性を知った私たちがひょうごの組合員の皆様に「福祉活動組合員基金=100円基金」について知って頂き、組合員みんなを取り組む基金となるよう提案していきます。 福祉準備会

～福祉活動組合員基金が設立したら、組合員は何が変化するの？～

福祉活動組合員基金は生活協同組合の「参加と協同」の理念に基づいて、全ての組合員が「広く薄く支え合う」ために、毎月100円出し合ってつくる参加型地域福祉の財源となります。

「毎月100円を全組合員から」を基本に考えています。なぜなら今困っている人、今は困っていない人でも皆で広く支え合っていくことを目指しているからです。「誰か」がしてくれるのではなく、自分たちが「知恵・力・おかね」を出し合って福祉に“参加”することが大切なのです。

「気づいたら私の100円がこんな大きな福祉活動の役に立っていた」

そんなふうに、自然に社会貢献ができる基金となります。

けれど、どうしても「未だ同意できない人」から強制的に集めることはありません。

＝始める手順＝

- (1) 同意・不同意書 (全員提出) または不同意書 (不同意の方のみ提出、提出の無い方は同意と判断) をお届けします。*1
- (2) 同意していただけた組合員の方は毎月の請求書で商品代金と一緒にカンパと同じように「100円基金として」、毎月100円引き落とされます。

*1 “同意”で始めて途中から“不同意”にすることも、“不同意”で始めて後から“同意”にすることも出来ます。

「同意・不同意書」または「不同意書」どちらの方法で集めるかは今後の検討で決めます。

基金活用については基金運用委員会を設置し、しっかりと審議して決定していきます。

設立について決議するのは、組合員の代表が集まって生協の年度の活動報告や方針を決議する総代会です。総代会は年に1回6月に開催し、必要に応じて臨時総代会を開催しています。

総代立候補の募集は始まっていますので、是非総代に立候補して総代会で福祉活動組合員基金についての決議に参加してください(書面議決も出来ます)

≪立候補届がお手元にない方は組合員事務局までご連絡ください。≫

福祉活動組合員基金設立についてのご意見や感想・質問も随時受付けています。是非お声を届けてください(右QRコード又はhukusi_midorin@yahoo.co.jpより)

また、福祉準備会ではひょうごで行う福祉の活動について毎月1回話し合っています。参加については上記QRコードかメールアドレス又は

組合員事務局までお問い合わせください。(Tel) 072-777-7641

